



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26 学校だより No. 17

平成26年7月24日発行

第1学期夏季休業前全体講話

校長 武藤正美

蒸し蒸しする日が続いており、梅雨明けが待ち遠しいこの頃です。今年度は4月4日の始業式から始まって、早くも4ヶ月近くになります。4月当初にたてた年度目標、今はどのくらい達成できていますか。明日から夏休みです。日頃のリズムとは違った日々となります。夏季補習とかしばらく続きますから、完全に学校から離れる訳ではないですし、課題もそれなりに出されていると思います。また、学年によって宿泊を伴う行事なども予定されています。物事の成功は段取り8割といわれますが、さまざまな行事をうまく利用した計画をしっかりと立て、充実した休みにしてほしいと思います。

今年度はいろいろ新しい取組を始めました。異学年交流の縦割り班活動、前後期合同クラブ活動は、本校の特徴を意識した取組です。実際に活動していかがですか。今後どのような成果になるかとても楽しみです。また、3年生は、「あすなる探究」や「修了テスト」といった新しい取組も始めました。今まで以上に高見を目指して欲しいと考えています。最終的には探究発表のプレゼンとか研究集録として成果をまとめて欲しいと考えています。それらをじっくり取り組めるのは、この夏休みでしょう。有効に活用してください。また、生徒会の皆さんが朝、玄関前に立って挨拶運動をしています。私は今年で3年目になりますが、いつも挨拶をしっかりとしようと言いつけてきました。着実にみんなの挨拶がよくなっていると思います。これからも、大きな声で、相手より早く「おはよう」「こんにちは」「さようなら」を励行してください。

この2年4ヶ月を振り返ると、『直江津中等教育学校』がどんどん成長していると実感でき、大変うれしいです。国際社会でリーダーとなるには、基礎的な学力を十分に備えることはもちろんですが、学力以上に『心』が重要であると考えています。たとえば挨拶も、通り一遍の「形」ではなく、相手をよく見て、心の動きを読み取ったり感じられたらどんなによいでしょう。些細なことですが、そんな行動が相手を思いやる心、感謝の心を育ててくれると思います。

『恩送り』という言葉を知っていますか。他の人から世話になったとき、ありがたいなと感じますね。感謝の気持ちがわきます。この気持ちを相手にも感じてもらうとはたらきかける、これは「恩返し」。情けを受けた人がいれば恩をお返しできますが、そんな場合ばかりではありません。そんな時でも何もしないのではなく、恩を受けた人ではない別の人に、恩返しすることです。私たち教員も、かつては生徒でした。いろいろな先生から様々なことを教えていただき、そのおかげで今の生活を得ることができています。その大きな恩に応えるのは、次の世代を担う皆さんにしっかりと教育を施し、立派な人材にすることだと思っています。前の世代の人々から受けた恩を、次世代へ引き継ぐことも「恩送り」と言えるでしょう。私たち人間は一人では生きていけない生き物ですから、様々な場面で「恩送り」することが、社会を穏やかで平和的に維持する、とても大切な営みではないかと思っています。ただし、よく考えると「恩送り」するためには『恩』を感じなければ何にもなりません。相手の心に思いをいたし、鋭い感受性と素直な想像力を持って初めて相手から受けた行為に対して感謝の気持ちを持つことができると思います。そうすれば「自己中」などと批判されることもなくなるでしょう。

心がけがとても大事だという点で、元ニューヨークヤンキースの選手だった松井秀喜選手の座右の銘を思い出します。彼が星陵高校時代の恩師である山下監督の言葉で野球場の一塁側のベンチに書かれていた言葉だそうです。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

心の持ちようは運命までも変えることができる力を持っているんだ、ととても励みになる言葉だと思いませんか。

明日からの夏休みを、運命を決める心がけで、是非とも充実したものにしてください。

夏季休業中の心得

【夏季休業中に十分配慮してもらいたいこと】

◎安全・安心に十分気をつけましょう。

- ・交通事故 ・水難事故 ・熱中症対策 ・落雷事故 ・不審者 ・触法行為

※特に不審者や怪しい者には近寄らない。危険を感じた場合は、即 110 番通報をしましょう！
また、遊興施設への立ち入りについては、既に配付してある「心得」に従い、無用なトラブルを避けるようにしましょう。

※心の悩みを抱えている場合は、一人で悩まず学校や相談機関にすぐに電話しましょう。

- ・上越少年サポートセンター（526-4970） ・24時間いじめ相談ダイヤル（0570-078310）

※友達の家に外泊したり夜遅くまで遊んだりすることは、問題行動の始まりとなります。

※ネット社会に潜む危険について認識し、保護者の監督の下で利用させてください。

現在、上越地域においてもネットいじめやネット犯罪に巻き込まれている生徒がいます。

ネットにより他校生徒とすぐにつながるようになり、トラブルに巻き込まれる事例が相次いでいますので、ご注意ください。

◎直中等生としての自覚ある行動をしましょう。

- ・補習や部活動の無断欠席は許されません。欠席の場合は必ず学校に連絡をください。
- ・心を豊かにするための読書、直中等生の本分である勉強を大いにしましょう！
- ・家庭の一員として、家のお手伝いをしたり家庭内で大きな声で挨拶を交わしたりしましょう。

◎夏季休業中は、生徒は家庭で過ごす時間が多くなります。お子様の健全な成長を支援できるよう、ご家庭で十分見守ってください。

水難事故から身を守ろう

夏はやっぱり川遊びや海水浴！しかし毎年、海や川での水難事故が起きています。事故を防ぐためには、遊泳禁止の場所では絶対泳がないことが重要です。また離岸流についての知識も必要です。



【離岸流って何？】

岸から沖へ強く流れる、海水の流れのことだよ。
とても強い流れのため、一旦この流れに乗ってしまうと、逆らって泳ぐことはとても困難なんだ！
抜け出し方は、次のようにするといいんだよ！



離岸流の幅はわずか10～30m だからすぐに抜け出せるよ。

- ①まず岸と平行に泳ぐ！
- ②離岸流から抜け出せたら、岸に向かって泳ぐ！
落ち着いて、決して流れに逆らって泳がないことが大事！！

交通事故の被害者にも加害者にもならない

本校の33%の生徒が、自転車通学をしています。多くの生徒は交通マナーを遵守して、安全に登下校に心掛けています。しかし、先週、近隣の方から本校生徒の自転車の乗り方について以下のご注意をいただき、生徒に対して指導をしました。

- ・本校校門から出てすぐの下り坂を、猛スピードで下りてくる自転車がある。
- ・自転車に乗りながら、携帯電話を使用している生徒がいる。
- ・自転車が右側を通行している。
- ・自転車が並列通行している。

以上のように交通マナーを守らない危険な運転をしている生徒は、大事故につながるリスクが高まります。交通マナーを守ることは、命を守ることと同義です。また交通事故に遭わないよう注意することはもちろんですが、自分が自転車事故を起こすこともあり得ます。自転車も軽車両の一つですので、交通法規を守らなければなりません。昨年度、自転車事故の加害者として、約1億円の損害賠償を命じられた例がありますので、ご注意ください。